

留学報告書

国際学部地域文化学科松浦帆乃夏

私は 2025 年 9 月から 2026 年 2 月の半年間、「認定留学」を利用して韓国ソウルの漢陽大学の語学堂に留学しました。語学堂の特徴として、立地のとても良いです。地下鉄 2 号線の駅から近く、明洞や東大門などソンスなどのエリアにもアクセスしやすい環境にありました。周辺には飲食店やカフェ、コンビニ、銀行、ショッピングモールなど生活に必要な施設が揃っており、非常に便利でした。

-授業について-

授業はレベル別に分かれており、1 クラスは 10～15 人程度でした。クラスには日本、中国、台湾、フランス、ベトナムなど様々な国の学生が在籍しており、私のクラスは日本人の割合は比較的少なく、韓国語を使う機会が多い環境でした。授業は主に月曜日から金曜日まで行われ、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 技能をバランスよく学びました。特に会話練習が重視されており、実際に使える韓国語を身につけることができました。また、中間試験や期末試験に加えてプレゼンテーション課題もあり、自分でテーマを決めて資料を作成し、発表する機会がありました。この経験を通して、韓国語で自分の意見をまとめて伝える力が身についたと感じています。授業時間は午前または午後に分かれています。さらに、韓国人学生との 1 対 1 のメンタリング制度もあり、言語交換や交流を通して実践的な会話力を伸ばすことができました。テスト期間中はカフェで勉強することが多く、周囲の学生の姿に刺激を受けながら集中して取り組むことができました。その結果、TO では目標としていた級に近づく成果を得ることができ、自分の成長を実感しました。加えて、語学堂の学生であっても大学の施設を利用できる点も大きな魅力でした。広くて静かな図書館を利用して勉強することができ、学習環境が非常に整っていました。また、学内で開催される学園祭にも参加することができ、屋台やイベントを通して韓国の大学文化を体験する貴重な機会となりました。さらに、語学堂でも学期ごとにテーマパークへの訪問や校内イベントなどの文化授業があり、韓国文化に触れる機会が多くありました。語学の学習だけでなく、現地の大学生生活を身近に感じる点が非常に印象的でした。

-生活面について-

私は、大学近くの学生寮に滞在しました。寮は学校から徒歩約 10 分の場所にあり、通学しやすい環境でした。部屋は 2 人部屋で、トイレとシャワーは共用でしたが、洗濯機や乾燥機、勉強スペースなどの設備が整っており、不便を感じることはほとんどありませんでした。キッチンはありませんでしたが、電子レンジやお湯が使えたため、簡単な食事は可能でした。授業後は友人と食堂や外食に行ったり、カフェや映画館に行ったり国内旅行をするなど、充実した時間を過ごしました。特にソンスやコンデといったエリアに遊びに行くことが多く、韓国の文化や流行を身近に感じることができました。また、韓国人の友人とも交流する機会があり、一緒に脱出ゲームをしたことも印象に残っています。

-留学を終えて-

今回の留学を通して、私は大きく成長したと感じています。留学前は人と関わることにに対して苦手意識がありましたが、異文化の中で生活することで積極的に行動する力やコミュニケーション能力が身につきました。また、言語だけでなく、多様な価値観や考え方に触れることで視野が広がりました。

これから留学を考えている人へのアドバイスは、ある程度の語学力を身につけてから行くことをおすすめします。基礎があることで現地での学びがより深まり、充実した留学生活を送ることができると思います。また、実際に現地に行くことでしか得られない経験が多くあるため、少しでも興味があれば挑戦してほしいと思います。